



2019年5月14日

各 位

会社名 協栄産業株式会社
代表者名 取締役社長 水谷 廣 司
(コード番号 6973 東証第一部)
問合せ先責任者 取締役常務執行役員
村本 篤
(TEL 03-3481-2111)

中期経営計画の取り下げ及び新中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2017年5月12日に公表いたしました2020年3月期を最終年度とする3か年の中期経営計画（GP2020：Growing Profit 2020）を取り下げるとともに新中期経営計画の策定について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 取り下げの理由

当社グループは、グローバル化による競争の激化ならびに最終製品の価格下落により厳しい状況が続いております。事業環境の変化に対応するために、収益構造の改善と安定した経営基盤を構築することを喫緊の経営課題として、IoTに関連する新しい技術の開発やそれらを活用した製品・サービスが急速に伸びていくことが見込まれるなか、当社グループが目指す姿としてSTGビジョン（ICT技術で未来を創造するSystem Technology Group）を制定し、STGビジョンの実現を目指すため成長戦略プランとしてGP2020を策定しました。

GP2020では、2020年3月期までにSTGビジョンの実現を目指すため、これまで培ってきた技術とサービス、そして私たちの夢を結集し、グループ総合力で事業拡大を図るため、お客様に密着した営業活動をより一層強化するとともに、広範な顧客基盤を活かし、収益機会を拡大するとの方針のもと、売上高600億円、営業利益15億円、営業利益率2.5%以上の達成を目標としてきました。

これまで計画達成に向けて、新商材の取扱いや海外部材メーカーとの連携による内外市場開拓、新製品、新商品の開発及びソリューション提案業務の拡大に取り組んでおりますが、新たな収益の柱となる事業の立上げが遅れていることに加え、昨今の労働市場を反映した人件費上昇圧力もあって、目標としてきた営業利益の確保が難しい状況となっております。

このため、誠に遺憾ですが、本日公表いたしましたとおり、2020年3月期の連結業績予想は、売上高600億円、営業利益4億円、営業利益率0.6%と売上高は目標を達成する見込みですが、喫緊の経営課題である収益構造の改善が充分に進まず、営業利益は、未達となる見込みです。

この様な状況を踏まえ今般改めて、大きく変化している事業環境や市場環境を見据え、収益力を

強化するための施策に関し見直し、検討を重ねていく必要があると判断したため、中期経営計画 GP2020 を取り下げることといたしました。

2. 今後について

直ちに新たな中期経営計画の策定に着手をしたうえで、2020 年 3 月を目途に公表させていただく予定であります。

以 上